京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月前金廿五錢●三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳▲郵税一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰暦 二月廿五日
發行編輯兼印刷人 山下[illegible]
發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六六三番

韓國に働きたる人物 其一 (大石正巳)

放浪子

大石正巳嘗て清韓及露領沿海洲を漫遊し、歸來筆を執て東洋策を著す、其聲價稻垣滿次郎氏の東方策に及ばざりき、然れども識者は却て大石氏の所論に重きを置きぬ、時の内閣總理大臣伊藤博文伯其材を偉とし、韓國の辨理公使となしぬ、所謂氏の東洋策に顯はれたる抱負の實行を試ることとの默契せられたるなりき、當時韓國には空飛ぶ鳥も墜さんとする勢ひある清國公使袁世凱ありて韓國を屬邦視し傍若無人驕傲至らざるなく、今の太皇帝當時の李熙王は、袁氏の勢に面從し只管渠の怒に觸れざらむことに勉められぬ、斯る處に傲岸なる大石正巳は來れり、當時に於ては民間の人士にて一躍公使となるが如きは殆ど異數なりき、故に大石正巳の評判は漢城政界に大なる響を以て迎へられたり、李熙王及び閔后の周圍に寄生せるバチルス的策士は李王閔后に獻策して反閔者肉の外交を試みむとせり、李熙王及閔后もよき相手ござんなれ之を手玉に取り、袁世凱に當らしめ我が手足に利用せむとせり、李朝外交の專賣、敵を以て敵を制するの外交は試みられぬ、流石は大石正巳なりき、王の黠策も閔后の嬌舌も其甲斐なかりき、外交界の視線は大石正巳と袁世凱とに注れぬ、日清の兩公使は漢城政界の花形役者となりぬ、大石正巳は外交官としては余りに無愛相にして余りに辭令に巧みならざりき、之れ氏が所謂霞ヶ關出身にあらずして民間より飛入の爲ならむ、爲に清公使には案外の氣味なくんばあらざりき、任に居る暫くにして防穀事件は起りぬ、清使袁氏は時機來れり日使を苦しめ呉れんと韓廷を煽動せり、之が爲に些々たる事件は大問題となりぬ、大石は躍起となりて談判せり、韓廷は清使の後援に氣を强くし、悠々閑々要領を得ず、性急なる大石如何で猶豫せんや、李熙王に謁して大に詰りぬ。時に大石近眼の故を以て目鏡を掛け居たりき王其無禮を咎めて取外さしめんとす、大石之を肯はずして之を王と爭ひぬ、王其激怒に屆せりと、されど防穀事件の談判は容易に決せず遷延亦遷延、大石は韓廷及李熙王の内兜を看破せり、高手的强壓に依らずんば到底決せざる也と、終に於て大石は高手的强壓手段を取り、終に公使館旗を撤して行李を調へ將に歸朝せんとせり、果せる故韓廷及李王は狼狽して和議を求めぬ、茲に始て談判結了せり、韓國の事既に斯の如し、大石正巳は僅に韓國眞相の一端を摘へたりき、伊藤統監の眼光之に及ばざるは何故ぞや。

次は陸軍中將宇佐川一正

●韓國經濟月報(一)(隆熙元年十月分)

概説

當十月の貿易は輸出入總額七百二十三萬八千八百三十九圓に達し之を前月に比するに實に一百三十六萬四千八百五十八圓の增加に相當し更に之を前々月に比する時は即ち三百三十六萬九千三百三十一圓の增加となれり蓋ふに初秋購買の時期に入りて以來急激に夏期の寂寥を破り貿易額は激進の一方となり當月は即ち前月の二割を增し前々月の約十割を增すに至りしなり之を輸出入の各項に就き撿するに當月の輸出額は二百四十四萬四千五百六十四圓にして之を前月の一百三十三萬九百二十八圓に比し一百十一萬三千六百三十六圓を增加し當月の輸入額四百七十九萬四千二百七十五圓は之を前月の四百五十四萬三千百五十三圓に比して二十五萬一千百二十二圓を增加し即ち當月中の貿易の增進は輸入の增加僅少にして寧ろ輸出の激增に基くを知るに足るべし果して然らば當月中の輸出如何なる變動を生じたるか是一顧を値する項目なるべし左表を見よ

當月中重要輸出品額表

種別	當月中輸出額	一月以降累計
人參	一、一九、六六三圓	二、七〇一、六八三圓
米	三〇〇、八六七	六、一二三、二〇五
豆及莢豆	五九六、四二九	二、二四四、三三六
畜類	八八、三六四	六一七、四九〇
牛皮	七六、六三四	四五五、六八九
乾鹽肥料魚	一八、三二一	三一三、三六八

卽ち當月の輸出が前月に超過したるは人參の百十九萬九千餘圓あるに依るものにして之を除かば寧ろ前月よりも八萬六千餘圓の減退に相當せり又之を貿易全額に對照するに人參の輸出高を除却せば前月よりも僅かに十六萬五千余圓の增加に止まれり之を要するに當月の貿易額は人參の輸出によりて非常の激增を示すも普通輸出入品に於ては前月と大差なき状態にありと云ふを得べし米の輸出額は當月の三十四萬余圓に於て前月の半額に達せず豆類は當月の五十九萬六千余圓に於て前月の三倍に相當せり其他は牛皮の前月よりも稍多量なる輸出あるのみにて畜類魚類皆孰れも前月に劣れり米の輸出額減少したるは在來の貯藏米既に拂底し而して新米の出荷未だ盛時に達せざるに由るべく豆類は當荷に續きて新荷の多量なるに由るものならん

輸入品に於ては金巾、紡績等の多物益々多く孰れも前月に劣らぬ輸入を見たり之を表示すれば左の如し

種別	當月輸入額	前月輸入額	一月以降累計
鐵軌及鐵道材料	六二九、六〇五	七三三、三一九	三、九七四、七九二
生金巾	三九二、五三六	三四九、一六六	一、四三二、六八一
紡績絲	三三三、八〇二	二六四、〇九二	二、一三三、一三〇
シーチング	二九九、五七二	四四四、二七二	一、七二四、二五五
白木綿	一九〇、三三〇	一三〇、〇三三	一、二〇〇、〇三三
晒金巾	一八五、八五六	二四三、八六〇	九三〇、七四〇
絹反物	一五三、六五二	一九五、〇三三	九六〇、三四六

當月貿易の各港別を檢すれば左の如し

當十月中各港輸出入額

	輸出額	輸入額	計
仁川	一、三三四、七九〇	二、四〇六、八四三	三、七四一、六三四
釜山	五三八、四五〇	九六八、五八一	一、四〇七、〇三一
元山	八〇、一五五	三六〇、一九七	四四〇、三五二
鎭南浦	一三五、四一四	四四五、七一九	五八一、一三三
木浦	四九、六四一	八〇、三九九	一三〇、〇四〇
群山	一二六、三五八	九八、一二一	二二四、四七九
馬山	五七、八五三	八六、一六六	一四四、〇一九
城津	一五、一三三	三四、四一七	四九、五五〇
新義州	七一、六三三	一四一、四〇八	二一三、〇四一
京城	八九七	二七九、四〇九	二八〇、三〇六
計	二、四四四、五六四	四、七九四、二七五	七、二三八、八三九

右の內仁川に於ける輸出額の大增進は前述の如く人參百餘萬圓の輸出ありしに由り之を除かば例月よりも寧ろ甚だ少額なる輸出をなしたるに過ぎず同港當月の輸入額が前月より少額なるは各地暴徒の橫行猖獗にして目下購買の季節に入りたるに拘はらず前月來の輸入貨物停滯して未だ大に集散するに至らず之が爲に當月の輸入額に減退を來したるものと知らる釜山其他各地の輸入額は季節相應に增加したり今輸出入狀況に付き之を昨年の當月に比較する時は其對照頗る愉快なるものあり左の如し

昨年及當年十月貿易額比較表

	輸出額	輸入額	計
昨年十月	八五九、〇〇四	二、九一七、〇三六	三、七七六、〇四〇
當年十月	二、四四四、五六四	四、七九四、二七五	七、二三八、八三九
比較增減	一、五八五、五六〇	一、八七七、二三九	三、四六二、七九九

●南滿鐵道の近狀

殘額四千萬圓の外資
新橋露都間直通列車
(増)

南滿鐵道の廣軌工事は單線は全部竣成し大連蘇家屯間の複線工事は來年七月頃迄に完成する豫定なるが新造の車輛も追々到着して既に一部の運轉を爲しつゝある由、然るに昨年募集に係る四千萬圓の社債も漸次消費して今や殘額も僅少となりたれば複線工事、大連築港、撫順炭礦開掘の設備等竣成するに必要なる殘餘四千萬圓の社債[illegible]て英佛資本家との間に交渉中(但し添田興銀總裁は新聞紙上明らかに之れを否認したり)なるが多分四五月の交に成立すべしと觀測するものもあり、又露國西比利亞鐵道との連絡に就ては時間の變更に關し近々彼我當事者間に協定を遂ぐる筈にて連絡輸送の事も漸次圓滿に行はるゝ傾あるのみならず昨年我本野公使が露國外相イズオルスキー氏との間に訂結したる鐵道條約文中に露國鐵道と日本鐵道との連絡輸送を期する旨を記載せるは單に南滿鐵道と西比利亞鐵道との連絡の謂に止らず行く〱は新橋ペテルブルグ間の直通列車を運轉せんと欲するの意思なる由なれば我南滿鐵道は世界交通の幹線として將來有望なり我大連の競爭者として浦鹽斯德港ありと雖も浦鹽は滿洲物資移動の頻繁なる冬期間に結氷するを以て固より我の敵に非らず、現に西比利亞鐵道に於て北滿の貨物を慾張りて浦鹽港に吸收せんと企てたる結果、哈爾賓は目下貨物停滯に苦みつゝあるは浦鹽の貿易の獨占を許さゞるの證據なりとて南滿鐵道會社の一員は呑氣なる氣焔を吐き居れり

●ステッセル裁判(三)

今や愈被告の運命を決すべき審問に入れり旅順開城に先ちたる十一月二十五日(十二月八日)の防禦會議は高山(二〇三高地)陷落後ステッセル將軍の發議に據りて召集せられしなり。高山の日本軍の手に移るや日本軍は盛に此の山上より砲擊して露艦隊を全滅に至らしめ、露軍は前列の防禦地點を悉く失ひしが爲、全體に於て防禦の狀態一變するに至りしなり。此防禦會議は衞戍司令官スミルノフ將軍を議長として最初老鐵山と鳩灣の防禦方法、豫備軍を編成すること及び酷寒の近づき且軍隊內に患者の增加することと等を議したりしが、最後にレイス大佐はステッセル將軍の名を以て防禦程度に關する問題即ち軍隊と住民の全滅を救ふため要塞の防禦を何時まで持續すべきやの問題を議題として提出したり。此の案は假面を被れるものにして、其の眞意は、何時要塞を開城すべきやを問はんとするにありたれば、直に全會一致を以て之を斥けたり。斯かる强硬の反對を受けたる爲レイス大佐は其の議事錄の特別意見書に於てステッセル將軍は同議事錄の議定書に於て共に此問題が會議に於て不正に解釋せられたりと辯じたり。此の件に就て同會議の議長たりしスミルノフ將軍は次の如く證言したり

▲スミルノフ將軍の證言

「會議の主要問題たりし豫備軍と糧食とに關する問題を議し終りたれば、議事は最早終結したるものと思ひたるにレイス大佐は新に防禦程度に關する問題を提出し[illegible]必要なし」と說き、余も亦同一の意味を述べたり。當時我等は未だボンベイより滊船キング、アルツール號に積まれたる五萬噸の粉を受領せざりき。經理部の調査に據れば當時我等の有せし豫備糧食は千九百五年の一月一日(十四日)迄は支ゆるを得たり。馬は尙三千匹もありき。而して馬肉の給與を增加しつゝ尙吾人は此の時期に於て優に八百頭の馬を軍用の爲に保存したり。粉を積みたる滊船の到着によつて更に一箇月間程を支ゆるべし。余は十二月二十七日(一月十日)が正に包圍後十一箇月に滿ることを記憶したり。若し吾人が此の時迄忍ぶを得ば旅順は確にセバストーポリに劣らざるの光榮を發揮するに至らんと期したり」云々。

▲フォーク將軍の證言

檢事先づフォーク將軍に問うて
「貴下はレイスの提議を如何に解せしや」。
フォーク將軍は躊躇しつゝ曖昧の口調にて
「被告は單に時間に關する問題なるが如くに思ひたり」。
檢事「貴下は議事錄に自署しながら之を讀まざりしや」。
將軍「讀まざりき……或は讀みしやも知れず……」と其の證言は曖昧なりき。

▲ステッセル將軍の答辯

被告は高山陷落の後、各部隊の防禦の程度を知らんが爲、又如何なる部隊が茶谷、第五、第六堡壘を占むるかを知らんが爲レースを遣はしたり。被告は各地點に於ける防禦の程度を會議に於て決定することをレイスに命じたり。十一月二十五日(十二月八日)には未だ被告の腦中に開城に關する思想など毛頭無かりき。當時凡ての物は尙未だ我が軍の掌中に在りたればなり……。

▲レイス將軍の答辯

レイスはステッセルが言はんと欲したる所の事を倘明かに說明して曰く
「被告はステッセル將軍の委託に據りて防禦會議に於て旅順が其の住民と軍隊との全滅を脫れざるに至るは如何なる地點を失ひたる時なるやを議せんとを述べたり。然るに被告の說明を聞かざるうちに、スミルノフ將軍はセバストーポリの例を引き又ボッケッ[illegible]經理部の調査表を抽出して、是れ防禦の程度なりと言へり。フォーク將軍の決定に反對してスミルノフ將軍は自から防禦有效の期間を、千九百五年の一月一日(十四日)までと定めたり。被告は要塞の防禦につき何事も云はざりき。被告が防禦會議に於て要塞の窮狀を過大に表明したりとの起訴は全く不當なり」云々

●間島問題の其後

[illegible]ることを得るに拘らず清國は尙ほ全部領有說を固執して聊かも讓步の色を示さゞるより交渉の進行も自然遲緩なるを免かれざる次第なれば我政府に於ては當初の聲明通り一意韓國民保護の任を完ふするに力め徐ろに事件の解決を待つべしと云ふ

小說 紘のみだれ(百四)

永井櫻園

「失禮ですが、貴方は誰方さんでせうか。」
勇五郎は客の顔を瞥々見ながら問ねる。
「イヤ、申し遅れました、私は松岡光三と云つて、山田邦男の友人のものです。實は清之助さんの事に就いて、内々御相談申したいと思つて、それで突然伺ひました。」
山田の友人で、しかも清之助の事で相談と聞いた勇五郎は打て變つた待遇態で、
「たや、左樣でございましたか、それじやこの通り取亂[illegible]りますが、まあどうぞ上り下さい、左に右其處ぢやア談話が出來ません。」
と、居座りながら、室内を取片附ける。
「では、暫時くお邪魔爲ませう。」
と、座敷へ上つた。
「見なさる通り起たばかりで火も熾して在りませんから火を起して茶でも上げます暫く御免下さい。」
云ふを制へて、
「イヤ、お茶も何にも要りません、それよりか早く談話を爲る方が宜いと思ひますから、どうぞ烟草の火に燐寸を一つ貸して下さい。」
「お茶も差上んでは相濟ませんね、それで[illegible]



ません山田さんと清之助さんの關係一件ですが、昨日清之助さんから、事情を打明けて相談された所が、大層な御立腹で、結局清之助さんは家を飛び出されたとか聞きました。そりや、貴方の立腹されるのも無理からん話で、既に大川とやらへ婚約が整つて居つたにも拘はらず、山田とあゝ云ふ關係になるなんと云ふは、山田も惡いが清之助さんも惡い、此點に就ては、貴方が何と御立腹なされるも御道理千萬だと思ひますが、しかし兩方とも離れる事の能ない關係になつて、殊にモウ妊娠にまでなつて居る上は、いくら立腹して見た所で取返は付かないですから、これは斯うなる運命だと諦める外はないです、又諦めないと言つた所で、兒まで出來るほどの間だから、山田も離れないと云ふ、清之助さんも離れないと言ふ日には誰が何と言つても致方のあるものじやありません若も互に好合つた間を、無理に引裂くやうな事をすると、それこそ新聞に掲るやうな騷を演らないとも云へませんが、然うなると角を矯めて牛を殺すも同樣で、悔むで見た所で取返の附くものぢやありませんが、全体貴方は奈何爲やうと云ふ御意見ですか腹藏なく御意見が聞かして貰ひたいものです。」
云ひ了つて、又悠々と烟を喫す。
「致しまするよ、貴方は山田から頼まれて入來下すつたんですね。」
「いゝえ、頼まれて來た理ぢやありません昨日遊に往つて居つた所へ、清之助さんが來て斯々だと云ふ話を爲たので、然う云ふ

京城新報

スチーブンス氏遭難に就て

（統監の猛省を促がす）　水浪生

飛報は突如として余輩の耳朶を打てり、曰くスチーブンス氏桑港に於て日本の對韓策を稱揚したるが爲に、韓兇徒に襲撃せられ重傷を負ひ今や瀕死の境にありと、余輩は十年來氏の知を辱ふするもの、此悲報に接して大に驚歎すると同時に、深く同情の念に堪へざるもの也

回顧すれば昨夏讓位政變の際、一隊の暴徒總理大臣李完用邸に火を放ち、虐殺を試みんとす、氏の住宅に近接す、爲に統監府は氏に告ぐるに危害を慮りて他に避難せんことを以てす、時に氏は泰然自若として曰く、余は誠心以て韓國民の爲に力を盡すもの、不幸にして誤解せられ暴徒の手に斃るゝとも余に於て何かあらむ、此鈍感に於て此事を退かずと、何ぞ其勇氣の凛然たるや、之を以て氏の人物の一端を推想し得らるべき也

氏は三十八年我政府の推薦に因りて韓國政府外交顧問となり［illegible］護條約を成立せしむるに就て伊藤公を補け多大の功勞を效したるは余輩の親しく知るところ［illegible］

［illegible］最も大なる犠牲に對しても、對韓經營を完ふせざる可らず、余輩は之れを伊藤統監の責任として其猛省を促さゞる可らざる也

●漢城便り

栗嶽生

一、統監政治も漸次に評らなき感想相起り申候、伊藤統監の歸任も近きにありとの事に候、牢歳に亘る御滯在其間神機妙算を案出せられ奇抜の御趣向を御立なされ候やの取沙汰有之候得共、小生は一向に之を信じ之を期待する勇氣無之候

●伊藤公の爲す所は常時も其識行だけ立派なるも、而して其目的は人質的參勤に候、恰も舊幕時代諸大名の參勤交替の觀有之候、鎗、薙刀、挾箱、御供揃の華やかなるに能く似て居り候

●道具立の華麗なるは伊藤公の特色に候、道具立の立派なるに反して結果の面白からざるも公の特色、今回の御脚色も太皇帝を日本觀光に御勸め申す位が關の山かと存せられ候、若し是以上を公に期待致し候は［illegible］

●公が遣行政略の華々しき爲め、觀客は［illegible］之は吳れて見れば其眞相を見誤らざる樣致し度候［illegible］後日落膽致し候破目［illegible］

●在留邦人は公の特質を知りて、より多く之を賴みとすること［illegible］空頼みして後悔する［illegible］

●小生は常に思居候、伊藤公は統監には不適任に候［illegible］內大臣か侍從［illegible］生中野心を抱［illegible］從來の成功［illegible］懸念され候［illegible］

［illegible］カーゾン卿の如き人［illegible］寧ろカーゾン卿の［illegible］國の故イグナチフム［illegible］寄りたる人物に候［illegible］專門政治家にはて［illegible］に可有之と存候、小［illegible］ことが肝要と思はれ［illegible］

［illegible］觀客皆倦色の［illegible］しても別に沈悶を破る［illegible］時節となり來りたれ［illegible］浮かれて浩然の氣を［illegible］

▲遭難後のス氏

紐育電報

遭難後のスチーブンス氏の容体は比較的良好にして［illegible］呼吸器等に負傷無く［illegible］ありと曰へり又同志兇行者は瀕死の狀態［illegible］

▲韓人兇行の原因

スチーブンス氏に對し韓人が兇行をなしたる原因として傳へらるゝ所によれば兇行者はスチーブンス氏の携帶せる書類を奪はんと欲したるものにて其の書類には韓國の現狀を明記せるを以て韓國革命黨は此れを以て韓國に不利なるものと認め若し此の書類にして高平大使の手に渡り更に米國大統領の目に觸れなば韓國の望み全く絕つと信じ居たるなりと云ふ（以上二十五日發）

東京電報

▲貸金の調達纏まる

韓國政府に貸付くべき日本興業銀行の資金二千萬圓は佛蘭西に於て交涉纏まり不日成立すべし

▲衆議院の慰問

衆議院の各派は交涉會を開きステーブンス氏の遺族に對し慰問の電報を發することゝせり

▲岩崎男爵卒去

豫て病氣中なりし男爵岩崎彌之助氏は昨夜卒去せり

▲副統監の歸京期

曾禰副統監は伊藤統監の歸任を俟つて四月十五日歸京の筈

▲通報艦の進水式

長崎造船所に於て建造中なりし通報艦最上は昨日進水式を擧行せり

▲貴族院の拓殖案

東洋拓殖會社法案は今日貴族院の本議に上り十八名の委員附託となれり

▲學部大臣の御陪食

本月二十八日韓國學部大臣の一行へ陪食を仰せ付けらる

▲統監の歸任期

伊藤統監は本月卅一日大森を發し歸任の途に就き宮島より軍艦に搭じて渡韓する事に決定せり

▲宋農相の歸國期

宋農商工部大臣は別項伊藤統監歸任の一行に途中より同伴して歸國する事となれり（以上二十五日午後發）

各地電報

▲暴徒駐在所を襲ふ

暴徒二百名本日午前三時高原郡巡査駐在所を襲ふとの急報當地警察分署に達し署長は日本人巡査を率ひて同地に向ひ急行せり（二十五日永興發）

雜報

●韓皇の德壽宮御訪問

太皇帝御微恙に渡らせらるゝを以て皇帝には昨日午前十一時三十分敦化門を出御德壽宮を御訪問遊され午後四時半還御相成たり

●舊白銅貨買上順序

（農工銀行へ令達）

舊白銅貨は本年十一月末限り其の通用を禁止されたる事は曩に報導したる所なるが今般度支部大臣は各農工銀行をして右の期間內に左記の手續により舊白銅貨の買上に從事すべき旨を令達せりと云ふ

一、舊白銅貨の買上價格は一枚に付金二錢五厘とす但し該貨幣中鉛製及び貨幣と認め得べからざるものに對しては買上を行はず破壞したる上購求人に返付するものとす

二、白銅貨の代金は〃成新貨を以て支出すべし

三、買上たる白銅貨は銀行の便宜に從ひて最寄の第一銀行支店又は支金庫に發送し此の荷造運搬の實費を第一銀行に請求する事

●清津土地規則發布

來る四月一日より開港さるべき咸鏡北道富寧郡清津港土地規則に關する件を裁可し左の如く公布されたり

第一條　本規則は咸鏡北道富寧郡清津に適用す

第二條　清津の境界は附屬圖面の如く清津境界なる文字を彫刻したる石標を以て此を指示す石標は境界線の兩端に在る滿潮點に各一個を置き他は其角點に置く

第三條　清津の土地を分ちて一等地及二等地の二種とす各種地區間の境界は石標又は其他の方法を以て此を指示す

第四條　清津の土地に課税する租税其他の公課は別に規定ある者を除くの外其地を管轄する理事官に納付す可し

第五條　清津の土地に賦課す可き地租額は左の如し

一等地　一個年一坪に對し　金二十錢
二等地　同　金五錢

第六條　地租は每年一月十日以內に其年の一月一日より十二月三十一日に至る一個年分を前納す可し

前項に揭る期日以後に清津官有地賣下規則に依りて競賣に付したる土地に在りては地租は同規則第五條に揭る賣買契約書を作成したる月より起算して同年十二月までの分を該契約書を作成したる日より十日以內に月割を以て前納す可し

第七條　前條の期間內に地租を納付せざる時は一箇年二割四分の比例を以て利子を徵收す

第八條　地租を納付したる日より六箇月後に至りて尙且地租及利子を納付せざる時は二箇月以內に在りて三十日前に豫告を爲し該地區を競賣に付す可し

前項の場合に在りては競落金は順次此を競賣費用競賣當日までの地租及利子幷に公課に充つ尙且剩餘ある時は此を舊所有者又は其繼承人に交付す可し

第九條　本規則の施行に必要なる規定は清津を管轄する理事官之を定む

附則　本令は頒布の日より施行す

●天然瓦斯特許

郡人某氏京城郊外に於て天然瓦斯を發見し其占有特許を目下農商工部へ請願中なりと云ふ聞くところによれば燃料として該瓦斯は人造瓦斯に優ること數等なりと云ふ

●郡主事の同盟欠勤

平安南道順川郡主事文榮增外三名は共謀して元書記臨時附屬の畑地二日耕を客年金百四十圓を以て同郡內面居李虎田吳處信の兩人に賣却して其の代金を分配せしを税務署は此の畑地を官有地なりとして小作料の納付を命じたるに李吳の兩人は買受當時の契約に反すと逃べて該地を返還し代金を償却せよと主事等に迫りたるを以て彼等は税務署の措置を怨み同盟して郡衙を缺勤し居れりと云ふ

●銀行券需要增加

從來韓內地に於ける兌換券は勿論銀貨の流通さへ困難なりしが近來銀行券を需要するもの追々增加せるが今其原因を聞くに昨今暴徒の跳梁甚しく動もすれば財產を奪はるゝの虞れあり從つて重量なる銅貨若くは銀貨にては避難の際携帶に便ならざる爲め必ずしも輕量にて容積を取らざる銀行券を要望するに至れり而して海州附近の如きは此傾向最も甚しく爲めに銀行券は拂底して額面以上の高價となり普通拾圓券は拾圓二三十錢の相場なりと云ふ

●仁川月末の金融界

例年本月末より漸次金融繁忙となり金利も多少昂騰するを常とすれど本年は不景氣の爲め夏物仕入も稍手控ねの氣味あり其他市中一般の商況氣乘らざる爲め前月と差したる變動なく金利も目下三錢を平均率とせり昨今のところ最も資金を需要せるは材木界なるが如し斯界は京城龍山其他に於ける諸工事勃興の爲め昨今を以つて最盛季とす殊に本年は此方面の需要多かるべき見込なり阪地相場不味の爲め輸出振はざれど玄白大豆の停滯せるもの少からざれば該方面に固定せる資金多額に上れり尤も某新聞所載の如き多額の〃閙ねは全然なき筈なり米豆取引所本月の受渡米は千石に上るべきも銀行家は未だ然したる商談に接せざる模樣なり

●愛國婦人會彙報

▲本部副長囑託　今回愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下より小宮宮內次官夫人に韓國本部副長を委囑せらる

▲救護部會　明廿七日午後二時鶴原總務長官邸に於て救護部會開會村上醫學士及村上軍醫正の講話ある筈

▲故金山書記官追悼會　故金山書記官一週年追悼會は來二十九日午前十時南山本願寺に於て擧行せらるゝ由

▲赤十字社商議員囑託　今般日本赤十字社長松方侯爵は韓國に於ける社業擴張上委員本部に商議員を置くの必要を認められ委員總長の推薦により左の諸氏に商議員を囑託せらる

石塚英藏、池田十三郎、大屋權平、俵孫一、鍋島桂次郎、牟田敬九郎、倉富勇三郎、丸山重俊、松井茂、小宮三保松、荒井賢太郎、明石元治郎、木內重四郎

●臨時居留民會

京城居留民團にては一昨日午後七時より臨時居留民會を召集し民會を開き四十年度豫算更正の件、南大門外埋立地購入の件、小學校及び幼稚園兒童通學區域の件其他に付き議し何れも之を可決したり

●京城民團豫算の剩餘

京城居留民團に於ては南大門內に高等女學校及び小學校を新設する爲め四十年度に於て土地建物等購入の費用として一萬五千圓起債のことを民會にて決議しありしも理事者は起債を要せずして之れが設立をなさんとて民團豫算の節減をなすと共に一方には民團税徵收に督促を加へたるを以て非常の好結果を生し遂に起債すべき一萬五千圓の剩餘を見たるにより一昨日の民會にて豫算の更正を見たるものにて之れ單に理事者が勵精の結果と云ふべし

●兒童通學區域

京城民團に於て四十一年度より第二尋常高等小學校及び高等女學校附屬幼稚園を新設することゝなりしを以て地勢上より通學區域を二分し明治町一帶及び南山町一丁目一帶以西を以て第二小學校及び高等女學校附屬幼稚園の通學區域とせり尙ほ第一第二小學校收容の比例數は左の通りなり

明治四十一年二月調現在小學校の兒童數千四百十三人を分割區域によりて分くれば左の如し

生徒數一四一三人｛第一小學校　八〇五人／第二小學校　六〇八人｝

四十一年度の生徒數を千八百五十人と豫想して之を分くれば左の如し

生徒數一八五〇人｛第一　一〇五七人／第二　七九三人｝

第一小學校は十八學級即九六〇人以上を收容することを能はざるにより果して四十一年度豫想の如き結果を生ずるときは過剩人員は第二小學校に收容す

●ス氏其後の容體

スチーブンス氏は其後「セントフランシス」病院に在り經過は頗る佳良なり小池總領事は「テリー」及「ツムハルト」兩醫を聘し診斷の結果に依ば右肺に傷部あり二十四日午前二時の容體にては醫師は未だ全く危險を脫せりとは斷定せざるも快癒の見込ありと云ふ小池總領事は氏の爲めに右兩醫士の外更に「ハンチングトン」博士を增聘したる趣なり

●水雷艇の入港

過日鎭海灣より仁川に入港したる守永少佐の率ゆる三十九、四十、四十一、四十三の第十艇隊は本日午後三時旅順に向け解纜する筈にして一昨日入港したる隅元中佐の率ゆる千鳥、鵲、隼、眞鶴の第十四艇隊は一兩日は仁川に碇泊し居るべしと云ふ

●交代兵上陸

第十三師團交代兵は昨日仁川に新兵八百五十九名上陸し一泊の上京城方面の交代を行ふ由にて平壤方面は鎭南浦に上陸し北韓方面は元山清津城津等に上陸漸次交代歸還せしむる筈なりと云ふ

●金貨の大輸入

韓國に於ける金貨の流通は本邦と同じく殆んど皆無の姿にて從來第一銀行に正貨準備として在庫せしものは十萬圓にして過日輸入されたる約五萬圓を加算して僅々十五萬圓に過ぎざりしが一昨夜を以つて八十萬圓の大輸入を爲せりと云ふ

●仁川昨今の商況

一時暴騰に暴騰を重ね遂に十有年來未曾有の高値を顯せし明太魚も其後日を逐ふて下落し昨今にては一梱廿四五圓を唱ね居れり然るに牛皮は昨年來の暴落尙ほ止まず此先き那邊迄下落すべきや殆んど見當の付かざる有樣なるが單に兩江の恐慌のみに依りて斯の如き慘狀を呈すべき理なく全く目下の狀態にては牛皮を使用して製作したる品の不捌けと其下落に歸因するは頗る首肯に價すべき說と云ふべし

大連への白米輸出は相應に行はれ居れり一時盛なりし淸人の兩相場熱も稍下火となり昨今小口も弗々取扱はるゝに過ぎず相場は八十兩五十錢ところなり

●市原盛宏氏

一銀總支配人市原博士は本月末歸任せらるゝ由なり

●藤田日韓社長

日韓印刷株式會社々長藤田謙一氏は昨日南大門發にて東上せられたる由なり

●岡崎師團長の出發

第十三師團長岡崎中將は昨日午前八時五十分の急行列車にて出發せり見送人は長谷川大將其他高級武官統監府よりは重なる文官李首相以下各大臣其他甚だ多數なりき

●各法官の着任

渡邊大審院長國分檢事總長世古控訴院檢事長中川地方裁判所檢事正安田大審院書記長田中控訴院書記長の一行は昨日南大門着列車にて入京着任したり

●近事片々

▲伊藤　統監歸期近づけり滄浪閣安臥半歲に亘る癒し來る脚色如何の新案卓絕の者ぞ

▲大磯　濟頭潮風温き處靜に凝慮せし脚色は太皇帝の誘致か將た儒生懷柔か聞まほし

▲痛く　惱るゝと聞く暴徒鎭壓策は如何一擧討伐か專實の懷柔か幕開きを待るぞかし

▲大山　鳴動して鼠一疋の感は常將伊公の演劇に見る所期待を大にせざれば失望なし

▲拓殖　會社と統監の施政其關係こそ韓經營發展に大影響あり滿鐵と總督府是可鑑也

▲威嚇　を害すとか列國の思惑とか事每に顧慮せば何事もなし得られず茲英斷を要す

▲米國　大統領非島經營參考の爲英國のクローマー卿を招待し意見を開く宏謀可擲也

▲ク卿　は埃及に於ける保護統治の成功者也伊公韓國保護の成功者と成得べき乎疑問

▲伊公　の自惚世の知る所何國かで招待して意見を聞そうな者だ乃公の腕前知らぬか

▲貴衆　兩院伊藤公招待伊藤萬歲を唱るに異論百出終に憲法萬歲を三唱する事となる

▲憲法　制定者は乃公也と常に誇る憲法の神樣も茲に至て顏色無其高鼻を折るゝ幾す

▲顧問　スチーブン桑港に日本對韓策を辯護して韓人に狙擊さる排日韓人の跋扈可恐

▲韓人　の排日行動は漸次に區域を擴めつゝあり米國は勿論南港に布哇に活動を試む

▲總理　李完用洋屋新築充用亦た之に倣はむとす宋秉畯亦富む大臣商賣は止られぬ也

▲大臣　となるは富を造り一門榮華を極むとする爲也と斯る考で國政を執る呆果る

▲常識　以て韓人の行動を觀察すれば必ず誤る軌道を逸せる韓人を統治する亦道あり

▲殺犬　其膽を取り人膽なりと稱し賣歩く者尾州名古屋に續々ありと生存競爭の弊也

▲墓地　を掘て死人の膽を取りて支那人に賣る橫着奴大阪に亦現はる噫末世なるかな

●京城小學校の卒業式　京城民團立尋常高等小學校に於ては既報の如く昨日午後一時より卒業證書授與式を舉行せり先づ横山校長開式の辭を述べ各生徒の君が代の唱歌あり御聖影を開扉し教育勅語の奉讀あり此時各員起立最敬禮を行ひ次で生徒の唱歌あり閉扉と共に順次證書の授與を終り村長の告辭及び[illegible]過ぎ全く式を終り來賓一同には別室に於て茶菓を饗したり參列の人々は統監府學事係の高洲理事官代理熊谷民長兩會議員新聞記者生徒父兄等にて盛式なりし

●天日製鹽地視察　政府は鎭南浦附近なる廣梁灣に天日製鹽場を設置するの議ある事は曾に報導し置きたるが今回臨時財源調査技師倉吉三郎同塚本道遠同主事山田直次郎同村井文太郎同技手趙明鎬同金昌世の六氏は同地視察調査のため出張を命せられ往復十五日間の豫定にて近々出發する筈なり

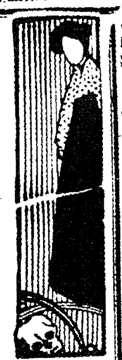
●鎭南浦警察署長の上京　鎭南浦警察署長天野警部は一昨日來京二日月旅館に投宿せり

●水兵の來京　仁川碇泊中の水雷艇水兵數十名は觀光の爲め昨日午前十一時仁川より來れり

●火賊逮捕　釜山警察署内に於ても去月十八日火賊四名を逮捕し銃四挺刀二振火藥若干を押收せりと云ふ

公人私人

△佐藤武（海軍大尉）[illegible]投宿せり
△吉永警視（[illegible]警察署長）[illegible]不知火旅館へ投宿せり



家庭談　花の根ざし（八）　栗嶽庵主人

靜子の病氣は漸次に回復してきた、まだ病床を離れるまでにならぬが、衰弱さへに回復すれば元の健躰になるのである、たゞ靜子の氣に掛るのは良人のことである、七八日前にきた書信には四五日の中に出發するとあつたのが今に何等の消息もないのである、何となく氣が揉めてならぬ、實家からもまだ何の便もない、一体どうしたのだらうと考に沈でとつをいつして居る處へ、老母が粥を持てきた、靜子の起きて頻に考へ込で居るのを見て

「妻君、どうしたのです、そう輕はずみをしてはいけませぬ、ぶりかへしでもしたらどうします、さアさアお粥を食てすぐおやすみなされ、次郎さんのことを考へて亦心配して居るのでしよう、そう心配しなくても、もう郵便がきますよ、さア早くお粥を食れよ、玉子をかけようか。」

と老母は頻に慰めつゝ勞れば、靜子も之に慰められて、微笑して

「伯母さむ、妾はどうして氣になつてなりません、何か異變があつたのじやないか、氣のせいか胸騷がしてなりませむ、伯母さむ、妾昨夜妙な夢を見たわ、御幣を擔ぐ樣ですが、どうも心配でなりませむ。」

としみ〲告れば、老母も亦た心中かく思はるのだから、同じ樣に氣になつて、慰め所か、自分も考へこむようになる、所へ爺は外から歸て來て、この場を見且聞き

「よし〱、そう心配なら一ッ電報を打て見よう、我はそんな心配はないと思ふ、花崎さんは、種牛のことか何かで何處かに行て居て歸てから手紙でも出そうと云ふ考に違ひない、してもう向ふは乾度手紙が出て居るに違ひない、まアみんなの氣休めだ、ドレ一ッ電報を打つてこよう。」

と爺は亦た表に飛びだした、老母は尚も靜子を慰めて、電報打てば遲くも明日は返事がくると獨言つゝ

「妻君、今打てば、明日は乾度返事がくるね、明日は笑て安心するやうになりますよ、それども手紙も明日わたりくるかも知れぬ、そう心配して病氣にさはりますよ、さアお粥をおあがり、大分ひえたもう一邊暖めましようか。」

と云へば靜子も、老母に心配かけましと

「ほんにそうです、いくら心配しても同じ事です、何だか病氣してから意氣地がなくなりました、妾お粥を只今頂きますわ、どうぞそこにお置きください、良人が居なくても、お二人の傍に居ればなにも心配することはないのですが、妾、一体心配性で困ります。」

●又も龍山の大疑獄

八村事件未だ結末を告げざるに又も龍山に一大疑獄の起るべき徴候あり尤も今尚ほ豫審中に屬して天機漏らすべからざるも其の嫌疑者と目さるゝものは岩崎三太郎、赤田口治助其の關係者は重波直藏、岡崎初太郎、石黒夏次郎、櫻井某等にしてこれに及ぼす者には肩書を有する紳士連もあり機を見て詳報すべし

●京城樂友會開催　京城樂友會にては來る二十九日（日曜日）午後七時より京城民團役所に於て第四回音樂會を開催することゝなれり

●日本大學校友會　日本大學校出身者及び同大學に縁故ある者にして京仁間に在住者の組織に成る校友會は來る二十八日天眞樓に於て第二回校友會を開くと云ふ尚は席上小宮荒井兩次官其他の講演ある筈にて同校に關係ある人々は成るべく列席せらるべきなり

●寫眞撮影　本派本願寺の經營になれる長谷川町の大聖教會にては昨日午後四時頃韓人の婦人信者を集め大觀亭の裏門前に於て撮影をなしたり

●永登浦の西洋料理　同地には數戸の西洋料理店ありしも曖昧店と殆んど異るなき有樣にて多少身分ある人は足踏みするを躊躇せしが尾形卯三郎といふ者四五日前より西洋料理店を開業したるが材料新鮮にして頗る好評を博しつゝありと

●飯泉氏令閨母堂の葬儀　天一銀行支配人飯泉幹太氏の令閨母堂鈴木ツノ子は此程死去せられ昨日午後四時出棺南山本願寺別院に於て葬儀を執行せられたり會葬者は日韓の實業家官吏等數百名にて莊嚴なる葬儀なりし

●自轉車泥棒の詳報　昨紙掲載せし其の詳報を聞くに去る二十四日午後七時頃旭町一丁目の中川自轉車屋に一韓人來り自轉車の修繕を依賴し十時までといへるを十二時ならでは出來ずとて其の約束にて韓人は出で去りしが後に同店にて店頭に置きし一臺の自轉車の紛失せしことを氣付き心當りを考ふれば彼の韓人が靴三足を持ち來り同店にて一足を穿ち他の二足を持ち去りたるは或は賍品にあらずやとの疑を生じ兎に角此の韓人を目的に一應の詮議をなさんと心利きたる丁稚を南大門通りに出し見張りせしめたるに果せる哉右韓人が南大門の方面より自轉車を走して歸り來るよりまてよ〱と聲掛けたるも彼は一目散に逃げ去るより更らに泥棒々々と呼はりたれば彼も此聲に怖たるにや約一丁斗り行き過ぎて轉倒し自轉車は其の場所に捨置いて何所ともなく姿を隱せしより丁稚は其の自轉車を持歸りし處間もなくして先きに修繕を賴みし人の使と稱してチヨンガー來り修繕出來居れば受取り歸らんといへど約束の時刻にも到らざるのみか泥棒の嫌疑もあれば本人に來れと告て去らしめしに又もや使と稱し名刺を携へて來りしより今度は彼れの住所を尋ぬべく丁稚が其使を伴ふて至り見れば彼れは南大門通の目賀田官舍の角側に住ひ居れるよりこれを連れ歸り自轉車を盜みし次第を語れといへば彼は大に立腹の体を裝ひ證據を示せと迫り同店にても持て餘し居る所へ彼は南大門通三丁目の質屋太島方へも自轉車並に靴等を入質し居ることを告ぐる者ありて愈よ以て此の奴胡亂なりと警察署へ連れ行きたり

●女房の戻るやう　ど神や佛に祈願をかけなざする鼻の下の長い連中は敢て珍らしきことにはあらざるが去る二十五日の夜南部警察署へ出頭せし一人はこれ其の類にやあるべく自分は大阪府の者にて旭町一丁目に居住する山口といへる者にて候とて冒頭を置いて扱いへるやう客年十月廿八日商用にて大阪に往き其の留守中は内縁の妻なる水野シゲなる者に萬事を托し置きたるが二三日前に歸京して見ればシゲは以前と打つて變り何かにつけて反抗し怪しき素振の見ゆるより離縁することになせしが衣類其他器具類の姿見えぬもの多々あるより如何にせしやと問へば留守中に盜難に罹りたりといへり然る處他の用事にて今夜シゲの滯在せる南大門通三丁目の大伴商會に至り見れば自分の内にて盜難に罹りしといへる座蒲團を用ゐつゝ思ふに其の他の物品も同家に隱匿し居るの疑ひあるにより警察署の御威光にてシゲにこれを携へて一應歸るやう御說諭下されと願ひ出たるにより居合の警吏は何は詳細に住所氏名等を聞かんとせしに彼は俄に都合ありとて前陳述を取消し逃ぐるが如く匆々退出したり

●樂みの後に患ひありの後聞　去る二十二日の夜西門外泰元寺に於て度支部のヨボ官吏が妓生と愉快の興最中強盜に襲はれたることは前號に報せしが後報を聞くに二人のヨボ官等は酒池肉林とまでは行かざれど傍らに妓生を侍らせ酒肴を前に列べ今や興酣なるとき九名の泥棒現はれ銀釵及び衣冠を強奪つたるが其際賊の一人は此奴等の面相は巡査に似てるから我々の後患を除く爲め一發の下に殺すに如かずと携ふる所の銃を向け將に火蓋を切りヨボの魂は宙字に飛ばんとするの殺那妓生の一人なる月香といふ女は鍵氣にも銃持てる賊の手に縋り涙を流しコワ何たる事を同胞にして同胞を殺すなどゝは謂る骨肉相爭ふものにて却て外人の嘘笑を受けん此人は巡査などする人にあらず度支部の判任官にして一日の日曜を幸ひに遊覧に來りしまでなれば何卒妾に免じて恕し呉れよと手を合せて助けを乞ひしにぞ泥棒も女に口說かれて脆くも銃を捨てヨボ判等に向ひ汝等判任の幾俸を以て口腹の

●叩いたのか押除けたのか　去る廿五日午後六時半頃南大門外の運送馬車屋金興俊（二十）が例の如く荷馬車を從ひて明治町一丁目を通行の際同町の魚商松本繁造の二女サダヨ（五つ）といへるが街路に遊び居りし其の頭に興俊が手を當てゝ往き過ぎんとするを繁造が認め何故に此の兒の天窓を叩いたか此の儘にては承知ならじと明治町巡査派出所へ連れ行きたり斯くて興俊の答へによればサダヨが途上に遊戲し居りて馬車を曳き行くに危險なるも言葉の通せざるより押し除けたりといひ黑白も判然せざるも喧嘩兩成敗の原則によりて巡査は繁造に對して小兒を街路に手離して遊戲せしむべからずと說諭しヨボに對して將來小供に向つては穩當に取扱ねよと說諭したり

●ヨボ警部人の妾を奪ふ　新義州警察署詰警部張東燦なる男は同地居住の金京龍なるものゝ妾と私通し金の目を忍び快樂に耽り居りしが去十四日夜其妾を誘ひ出し己が宿所に伴ひ來り同衾し巫山の夢圓にして春宵の一刻も永からんことをと互に睦言に現なく語り居りしを夫の金は其妾が姿を隱せしより何處に行きしかと血眼になりて探したる末漸く右の次第なりとのことを聞き直ちに同所に至り張に對し大に其不埒なるを詰責しに張は警部といふ官威を肩に着て部下の巡査に命じ金京龍を縛せしめ毆打を加へ數日間獄中に拘禁したる上其妾を橫領したるにぞ之れを殘念に思ひ裁判を仰ぐ爲め此程遙々上京したり

●龍山桃山だより　今日此頃の陽氣につれ當廓も多少人氣を恢復せし傾向あるは何より結構のことに候▲評判もよく客足繁きは古き丈け清榮樓かと存候▲近頃崎陽樓は價額の廉にして容扱ひも叮寧なる由にて日に增し繁盛に見受けられ候▲讃高樓は帳場が生意氣とかにて評判は宜しからざる方と聞き及び候内地を喰ひつめ韓國下りまで飛出して來る連中に何れ碌な人間が居る筈は無之候へ共是は又格外の橫着者との評判にて其れがため樓内常に風波の絕ゆる間なく仲居を初め娼妓等まで帳場の橫暴を憤り同盟休業して一泡吹かしてやらんと目下寄々協議中との事に候が開店早々餘り縁起でもなき事に有之候△藝娼妓どもの品評は次便に可申上候かしく（不粹生）

●對瀨川氏義捐金　巡查瀨川孫平氏に對する其後の義捐金は左の如し

一金五圓也　高橋章之助
一金拾圓也　佐々正之
一金五圓也　熊本縣人　高島義恭
一金五圓也　同　佐藤潤象
一金五圓也　同　高橋長秋
一金貳圓也　同　熊谷直亮
一金五圓也　同　小川靖雄
一金五拾錢　日韓印刷株式會社見習生　俵松子
一金五拾錢也　東大門屠獸場内三重縣人
一金壹圓五拾錢也
一金壹圓五拾錢也
一金壹圓也
一金參圓也
一金貳圓也
一金壹圓也
宮本晉造　川口喜代松　春野政治　大村兵太郎　橋本武治　本郷友次郎　嘉村勝太郎　濱吉太郎　濱島平松　橋本房一

小計五拾圓也
累計貳百六十九圓拾五錢也

●官煙不二の輸入　官煙の上等煙草は從來當地に於ては敷島のみなりしが此度「不二」の輸入ありて賣出し早々非常の好景氣なるが同煙草は口付中の最上品なるを以て接待用などには最も適當にして金口の惡臭にあきたらず思ひ居る此頃同品の輸入せられたるは好煙家の福音とも云ふべし

●貴生堂の改築　當地本町四丁目近藤貴生堂藥房は從來の家屋にては狹隘なるにより目下改築に取懸り竣功の上は一層業務を擴張し一般顧客の便利を計ると云ふ詳細は別項廣告欄にあり

●取消　左の通り申込みありたれば該記事は取消すことゝせり

明治四十一年三月十八日貴社發行の京城新報第壹百四號に看護長の惡事なる題目の元に種々御掲載有之候へ共右は全く事實無根と認め候に付至急御取消相成度此段申進候也　明治四十一年三月廿三日　韓國駐劄京城衞戍病院全州分院　京城新報社御中

●永登浦の人力車　永登浦在住東南吉三郎氏は各種の事業を經營し居れるが今回人力車數輛を日本より取寄せ近々營業を開始する筈なり開業の上は度支部工場及び監獄署方面に所用ある人には好便宜なるべし同地に於ける人力車營業は之を以て嚆矢とす

開店御披露

御料理

右今般三好町ニ於テ本月二十三日ヨリ開業仕候間續々御光來被下度奉願候

京城三好町

筑紫亭

業務擴張

移轉廣告

京城郵便局前

洋反物
太物蚊帳
綿類蒲團

㋐ 秋山商店

電話九四六番

古着
賣買

㋐ 秋山商店

▲弊社は誠實秘密且敏速に業務を營む
●宅地及韓人家屋の賣物あり
●商店向其他の貸家あり
●鑛山の賣物あり
●耕地未耕地の賣物あり
▲弊社は各方面に渉り各事項を調査す

本社 京城永樂町一丁目八番戸假事務所

京城仲介社

營業科目

土地家屋鑛山山林賣買貸借ノ仲介
土地家屋鑛山山林測量製圖應依頼
灌漑排水事業設計應依頼
土地整理竝丈量應依頼
鑛山未墾地出願代辨
土地家屋賣買證明願手續代辨
外國旅券出願代辨
新聞廣告取次
電話賣買取次
韓國に關する圖書雜誌閲覧
韓國に關する非賣出版書閲覧
韓國に關する本社調査書類閲覧
商品依託特約代理店ノ仲介

支社

東京	東京麴町區富士見町	伊藤豐次郎
大阪	尼ヶ崎字宮町	由比昌太郎
仁川	仁川新町一丁目	遠藤喜平
釜山	釜山入江町一丁目	加納佐一
木浦	木浦山手通三丁目	谷垣嘉市
鎭南浦	鎭南浦西二丁目	古田稲市
開城	開城西部	全福又三
水原	水原南門内	川口直三郎
元山	元山居留地	菅鶴平
鏡城	鏡城北門内	菅鶴平支店
平壤	平壤大和町	佐久間賢次郎
大邱	大邱東門外	松本新作
龍山	龍山元町	吉岡一臣

嶄新建築材料品種々

ラバイド
金屬打出モナーク瓦
アスハルト並に工事
リサイト
一名防火ペンキ
アスフハルト
フエルト
穴原木材防腐劑
米國製壁紙◎石綿瓦
建築用紙◎エナメル

本店 東京京橋區五郎兵衛町(特電本局九四三)
支店 大阪西區靭中通一丁目(特電西八九四)
同 横須賀市瀧太町(電話一一一)
同 大連市伊勢町十一號地
同 韓國京城大和町一丁目
出張所 米國紐育ブロンクス九街六

合資會社

九原商會

珍店江戸子流

東京下駄

仁川宮町二丁目

成田屋

電話一八二

會席

御料理

並に仕出し

京城本町一丁目

曙亭

興信事務及
未墾地鑛山
測量並設計
土地家屋等
諸種之紹介
鑑定及調査
廣告之取次

(業務、迅速、取扱)

京城興信所支局

京城旭町二丁目
民團役所向角

拾有八年の實驗
最新學術の應用

齒科醫
勳六等

京城南山町三丁目

檜崎東陽

(日本人倶樂部向)

一般患者ノ
診療ニ從事ス

前院長橋本三男氏後任トシテ今般元福岡醫科大
助醫員タリシ百合野寅松氏本日ヨリ診療ニ從
事セラル

本院ハ最新治療法ヲ旨トシ梅毒、痳病、下疳ハ本院
ノ獨特トス
腫物、婦人病ニハ特ニビール氏ノ欝血療法ヲ施ス

新王城大漢門前

日韓病院

梅毒にて苦む御方は急ぎ一劑試み給へ
速に全治す薬効なき時は返金す

百八治 濕血丸 しつけつがん よこね、かんそう、ほねうづき、ようばいそう、りん病、子宮病、じじつ一切、がんがさ、るいれき、たいどく等に特効あり　價一圓

右薬は米國醫科大學教授博士(マンキリン氏)の明治二十五年十月新發明せられし良劑にして輕きは半廻り重き病は一二週用ゆれば速に全治す此薬は我日本にありふれたる梅毒薬とは異なり服用して決して口中いためず飲食物に禁止なし就業勤務に妨害なし身体衰弱せず頭髪ぬけず養生中他人は勿論家内のものにも知れる世話なく全治する事保證す但一週間分金一圓

▲賣捌き御望の方は御來車あれ

調劑本店 大阪 松本快活堂

韓國一手販賣 京城新町 松本儀祐

▲到る處の賣薬店にて販賣仕候

▲電車割引券發賣
▲電車割引券
▲龍山線區域改正
▲電車發着時間改正

四月一日より鐘路本社及龍山電車停車場にて發賣す
六十枚綴一冊に付金二圓八十五錢何れの區域にも使用し得べし
四月一日以後は南大門驛前を境界點とし同點より鐘路及龍山迄を各一區域とす
四月一日以降は夏期時間表に依り電車を運轉す

米韓電氣會社

節句用

雛市松人形其の他種々

荷着大勉强

㋫ 京城本町四丁目

河村百福號

電話七四六番

極材木、竹類、瓦灰

座敷廻り諸材料特に注意取揃あり

右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候間多少に不拘御用命願上候

㋦ 小森材木部

京城旭町一丁目
電話七四四番
本宅四〇五番

西洋御料理 宴會

日本人倶樂部

京城南山町三丁目電話(一一三番)

新荷着御案内

東京名産の部
ホトヽギス巻、櫻花漬、八千代巻、チツ巻
梅干、エビ佃煮、ハゼ佃煮、貝佃煮、キヤラフキ、新漬澤庵

京都名産の部
蕪千枚漬、蕪百枚漬桃入
水菜新漬、京都新漬澤庵、上等奈良漬、色付ナシ梅干、料理用白味噌、茄子大根白味噌づけ

大阪名産の部
金山寺味噌、鐵花味噌、山わさび、金カンデンプ、青サイカキ、花良京青トウカラシ
デンブ色々

靜岡名産の部
ワサビづけ

北海道名産の部
鮭筋子鹽づけ、同粕づけ、鮭粕づけ

長崎名産の部
上等カラスミ

名古屋名産の部
岡崎八丁味噌

壜から物の部
上等このわた、同うに、鰹鹽から、鮎うるか、いか糀づけ
其他各國名産罐詰瓶詰各種全部新荷着仕候間多少に拘不御買上げ願上候

勉强 親玉 たなじみのつけ物屋

京城本町二丁目

日下部商店

齒科全般の治療

米國最新式義齒

米國齒科醫學博士 女醫 中村安子

京城本町六丁目(藪そば横町)

內外書籍新聞雜誌
和洋雜貨日用品
文房具學校用品

大阪朝日新聞 一ヶ月四十五錢
同 毎日新聞 一ヶ月四十五錢

京城本町三丁目

㋟ 平田商店

(電話百十五番)

統監府
各官衙御用
荷物荷造及運搬

本店 曙町
營業部 本町三丁目

(電話七百三十二番)
(電話四十番)

伊藤組

伊藤友松



●大勉强廣告●

○うなぎ蒲燒○會席御料理
○うなどん○親子どんぶり

本町座前大和湯向

きく紋

電話九百五十四番

營業科目

紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐デシン
穀物食鹽
織物染料

諸衙官用御品調達
各學校用品調達

并に

委託販賣

東京 合資會社アライアンス商會代理店
横濱 百七十六番 ビユームエンドライフ商會代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二